

活 用 技 術

平成 22 年度

鮮やかな赤色が美しいぶどう新品種「クイーンニーナ」の選定		
[要約] <u>ぶどう</u> 新品種「 <u>クイーンニーナ</u> 」は果皮色が鮮やかな <u>赤色</u> で美しく、 <u>糖度</u> も 22% と非常に高いため <u>食味良好</u> である。発芽や着穂も安定しており、 <u>種なし栽培</u> むけである。		
農業総合研究所園芸研究センター 育種栽培科	連絡先	TEL 0254-27-5555 FAX 0254-27-2659

[背景・ねらい]

新潟県におけるぶどうの品種構成は「巨峰」に偏重しており、価格の低迷や作業労力の集中により栽培面積が漸減している。また消費の多様化により「巨峰」以外の品種を求める声も強いことから、特徴のある新品種を選定した。

[成果の内容・特徴]

1 果実特性（表 1、表 2、図）

- (1) 果皮色は鮮やかな赤色で美しく、糖度は 22% と非常に高いため食味良好である。
- (2) 1 粒重は露地栽培で平均 12g、無加温ハウス栽培では平均 16g と大粒となる。
- (3) はく皮性はやや難である。

2 栽培特性（表 3）

- (1) 露地栽培における 4 月下旬の発芽期は「巨峰」と同時期、6 月中旬の開花期は「巨峰」よりやや遅い。収穫期は「巨峰」より遅く 10 月中旬頃となる。樹勢は「巨峰」並に強い。
- (2) 発芽や着穂が安定しており、簡易な種なし栽培（短梢せん定無核栽培）ができる。

3 来歴

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所で育成され、平成 15 年開始の第 11 回果樹系統適応性・特性検定試験に供試された系統である。交配親は安芸津 20 号（紅瑞宝×白峰）×安芸クイーンで系統適応性検定試験の系統名は安芸津 27 号である。

[成果の活用面・留意点]

- 1 四倍体品種で花ぶるい性が強いため、有核栽培は適さない。
- 2 ジベレリン処理は 1 回目：満開 3 日後 25ppm 花房浸漬、2 回目：満開 10 日後 25ppm 果房浸漬した。
- 3 本品種は平成 21 年 9 月 24 日に品種登録出願公表（品種登録出願番号：第 23912 号）された。苗木の供給は平成 22 年秋以降の見込みである。
- 4 本試験で用いた「クイーンニーナ」の樹形は短梢せん定一文字整枝である。

[具体的データ]

表1 「クイーンニーナ」の果実品質データ

品種	作型	収穫日	果房重 (g)	軸長 (cm)	段数	着粒数	裂果数	1粒重 (g)	糖度 (Brix%)	酒石酸 含量(%)
クイーンニーナ	無加温	9/25	426.1	8.7	12.5	26.2	1.6	16.1	22.1	0.34
	露地	10/13	372.3	9.2	13.6	31.1	1.6	12.4	22.1	0.37
安芸クイーン	露地	9/19	381.4	7.0	14.7	27.1	1.7	14.1	20.7	0.44
巨峰	露地	10/3	331.5	7.0	13.4	29.2	0.1	10.8	18.9	0.48

注) 整枝方法は短梢せん定一字整枝、クイーンニーナと巨峰はH16植栽でH18～21までの4カ年データ平均値
安芸クイーンは17年生樹でH18～21までの4カ年データ平均値



図 「クイーンニーナ」果実

表2 クイーンニーナの果実特性

果房形	果粒形	果皮色	はく皮	果肉硬度	香気	渋み	裂果性
円筒形	倒卵	赤	やや難	硬	フォクシー	少～無	極少

表3 「クイーンニーナ」の生態データ

品種	作型	発芽期	展葉期	開花期			収穫期		
				始め	盛り	終わり	始め	盛り	終わり
クイーンニーナ	無加温	4/10	4/15	5/22	5/28	6/1	9/22	9/25	10/4
	露地	4/24	5/1	6/13	6/15	6/18	10/6	10/12	10/18
安芸クイーン	露地	4/19	4/26	6/8	6/11	6/14	9/7	9/16	10/4
巨峰	露地	4/24	4/28	6/9	6/13	6/16	9/19	10/3	10/4

注) クイーンニーナと巨峰はH16植栽でH21までの6カ年データ平均値
安芸クイーンは17年生樹のH16～H21までの6カ年データ平均値

[その他]

研究課題名：にいがた園芸生産の牽引役となるオリジナル品種の開発と優良品種の選定
にいがた産果実の安定生産とブランド確立支援技術の開発

予算区分： 県単経常

研究期間：平成 15～21 年度

発表論文等：